

魅せる！現場 ～現場を支える人々編～

国道2号別所ランプ

今回はこちらの匠をご紹介！

発注者：姫路河川国道事務所
受注者：株式会社神崎組

別所ランプのフルランプ化により、自動車輸送による貨物等の円滑な物流機能を確保し、東播磨地域の交通結節点の強化を図ります。

今回はこの現場から(別所下りオフランプ)

現場代理人の株式会社神崎組16年目の小門元樹です。

僕がこの業界に入ったのは、小さいときからものづくりに興味があり、プラモデルに始まり、勉強していくうちに、やがてはみんなの役に立つモノ、地図に残るような仕事がしたいと思ったのがきっかけです。

自分が携わった工事で構造物ができあがり、それを多くの方が利用されているのを見ると、たとえようもない充実感や達成感があり、誰かのために役立っている、それが今の僕を支えている原点です。今の若い人にも、土木の魅力をもっと知っていただきたいですね。



(株)神崎組
こかど げんき
小門 元樹
36歳



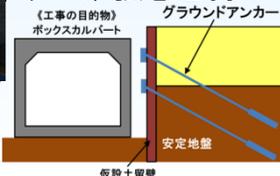
7月現在



東興ジオテック(株)
よこやま あつひろ
横山 敦洋 37歳

さつこうき
削孔機

(株)神崎組さんの下請けで、仮設工事担当の東興ジオテック株式会社14年目の横山敦洋です。僕の仕事は、地盤を安定させるために、削孔機で穴をあけ、そこにアンカーと呼ばれる鋼材を挿入するのが主な仕事です。工事の中では、縁の下の力持ち的な役割ですが、この仕事が後の作業に大きく影響するので、常に緊張感を持って取り組んでいます。



この工事の目的であるボックスカルバートは、左図のように地盤を掘って施工します。その時に地盤が崩れてこないように、仮設の土留壁を設置し、アンカーの引張り力で、壁を安定させ、ボックスカルバートを施工する作業スペースを確保します。

